第1回鎌倉市市民活動センター指定管理者選定委員会 議事概要

開催日時：令和3年（2021年）7月1日（木）13時30分～14時40分

場所：市役所第3分庁舎 講堂

出席者：【委員】土屋委員長、相川副委員長、石渡委員、丸尾委員、矢野委員
【事務局】曾根次長、荻田課長補佐、加藤職員、小池職員

1. 委員紹介及び委嘱状の交付

曾根次長より、委嘱状の交付を行った。

2. 委員長及び副委員長の選任

委員から互選の案が出ず、事務局案を求められたため、委員長候補に土屋委員を、副委員長候補に相川委員を提案したところ、承認された。

3. 会議の公開について

会議を公開すると、選定委員会の採点基準等を事前に知ることができ、特定団体の利益につながる恐れがあることから、本日の会議は非公開とした。第2回選定委員会については、応募者からのプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、それ以外は非公開とする。

議事概要は、候補者選定後に公開することとする。

4. 鎌倉市市民活動センターの概要説明及び現地視察

事務局から、資料により鎌倉市市民活動センターの概要説明を行った。現地視察は、委員からの希望があれば行うこととした。

【主な意見及び質疑】

なし

5. 募集要項・仕様書・選定要領の決定

事務局から、募集要項・仕様書・選定要領の素案について説明を行った。

【主な意見及び質疑】

○募集要項

（委員）第5期指定管理者に特に求めている部分について、募集要項にわかりやすく記載したらどうか。

（事務局）「コーディネート力」「活動を継続、発展させていくための相談への対応」「ICTの活用」を特に求めている。募集要項の冒頭部分に追加することとする。

（委員）審査時の応募者の説明者について、5名以下としているのは理由があるか。

(事務局) 前期の選定から5名以下とした。これは、前期の選定委員会の際に、審査選定時における説明者の人数制限について質問があり、審査及び選定に支障を与えないよう説明者を5名以内とするよう選定委員からご提案いただきそのように変更した。

(委員) 5名でも多いのではと思う位なので、5名以内で良いと思う。

(委員) 応募資格を拡大することにより、応募者は増えそうか。

(事務局) 今の時点では情報を掴んでいない。県内に拡大することにより、中間支援・コーディネート豊富な経験や高いノウハウを持った団体からの多くの応募を期待したい。

(委員) 多くの応募があるといいと思う。応募者数によって第2回選定委員会の所要時間も変わってくると思うが、今は何団体の応募を想定しているか。

(事務局) タイムスケジュールとしては、前回と同じ2団体の応募を想定している。応募者が多数となった場合、会議の時間については改めてご相談させていただきたい。

(委員) 承知した。

○仕様書

(委員) (6)管理運営に関する遵守事項では、指定管理期間終了後の市への返還について記載があるが、次期指定管理者への引継ぎについても記載した方がよいのではないか。

(事務局) 記載を追加する。

(委員) 時間外の利用について、市の承認を得て臨時に開館時間を変更できるということであるが、事務的に手間になっていないか。

(事務局) 時間外についてはセンタースタッフがいないため、事前に利用団体に対して鍵の管理等のレクチャーの必要があり、その流れの中で利用団体から書類を提出していただいている。その後は、指定管理者から守衛と地域のつながり課に書類を提出し、地域のつながり課で決裁をとって管理している。事務量としてはそこまで負担にはなっていないと認識しており、登録団体の利便性向上にもつながっているため、継続して実施していきたい。

(委員) 承知した。

(委員) コーディネートや相談機能は中間支援に求められる機能であるが、現状はいかがか。

(委員) 自分の所属する団体も含め、法律や税務の専門家を入れていない団体は多い。センターに相談して専門家に繋いでもらったこともある。

(委員) 現状で足りていると感じるか。

- (委員) 足りているかというところとわからないが、相談して専門家に繋いでもらった際は助かった。コーディネートについてはわからない。
- (委員) 他市のセンターではNPOに強い税理士を配置している場所もある。
- (委員) 税理士会に直接相談していただければ、税理士会で要望に合った税理士を紹介することができる。
- (委員) 専門相談体制の構築という面では、相談があった際に繋ぐ先としての、士業とのネットワークも重要になる。

○選定要領

- (委員) 最低基準点が「総配点の100分の50を超える」、総配点が「108点」ということは、108点の半分を超えた点数から審査を通過するということによるのか。
- (事務局) その通り。55点から審査を通過するということになる。
- (委員) プレゼンの当日に採点となると難しいのでは。
- (事務局) 事前に応募書類一式をお送りするので、第2回選定委員会当日に採点していただくことを前提に、事前にお目通しをお願いしたい。書類に不明点がある場合、事務局にご連絡いただければ、応募者に内容を確認し、委員の皆様にご連絡する。
- (委員) その内容は全委員に共有されるのか、個別に連絡するのか。
- (事務局) 内容によって事務局で判断し、共有した方が良い事項であれば全委員にご連絡する。

【結論】

- ①募集要項に「第5期指定管理者に特に求めること」をわかりやすく記載する。
- ②仕様書に「指定管理期間終了後の次期指定管理者への引継ぎ」について記載する。

上記①②を修正することとし、それ以外の内容については、事務局の提示した募集要項・仕様書・選定要領素案の通り承認された。

6. 第2回委員会の開催についてのご案内

事務局から、第2回委員会の開催について説明した。

以上